

社会福祉法人 福寿園 機関紙

ひまわり



第22回 福祉の絵手紙 最優秀賞受賞作品 細川 美恵 様

184号

令和7年11月10日

- 2 留学生ホームステイ企画
- 3 たっぷく日本語学科入学式 / 第22回福祉の絵手紙受賞作品決定
- 4 秋のフェスタ開催(武豊、田原)
- 5 連載vol.75 ●「記録に残したい記憶」～貴重な体験を語り継ぐ～
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 ▶ 11 福寿園ニュース
- 11 たぶトピ / 家族会だより
- 12 連載 ●外国人介護士 紹介インタビュー
●祝出産! ベイビーちゃんいらっしゃ〜い
●4コマまんが フクちゃん



**留学生
ホームステイ
企画!!**

9月26日(金)～28日(日)の2泊3日で、日本に来たばかりの留学生に日本の文化やマナー、ルールを教えてもらおうと、福寿園職員の家にホームステイをしました。日本のお金や食べ物、風習を伝えるといったミッションを職員と共に挑戦しました。

Misson

(ミッション)

1. 玄関で靴を脱ぐ
2. エコバックを持って買い物する
3. 日本のお金を使って種類を知る
4. 「いただきます」と言って食事をする
5. トイレットペーパーはトイレに流す



各家庭では、子どもたちと交流したり、電車に乗ったり、おにぎりをつくって梅干しを食べてみたり、花火をしたり、など挑戦いっぱい時間でした。

受入れた職員は、受入れて良かった。互いに良い経験になった。思った以上に日本語を話せてコミュニケーションは問題なくできた。外国人介護士を目指して日本へ来た子たちの想いを知ることができてよかった。ぜひまた受入をしたい!などの感想を寄せてくれました。

出発時は緊張した面持ちでスタートしたものの、2泊3日という短い時間でしたが、別れ際は離れがたく涙みだの留学生もいました。日本の家族ができ、これからの学校生活、日本での生活もより充実したものとなるでしょう。留学生は受入れた職員と同じ職場で働きたい、もっと日本語が上手になりたいなどいろいろな想いを持ったようです。

受入れてよかった

- インドネシアの文化や食べ物について知ることができた。
- 子どもたちは普段意識していなかった日本の文化にあらためて気づききっかけとなった。

何をした?



- トランプでババ抜きとジジ抜きをした
- 梅干しを食べた
- 電車に乗って図書館へ行った
- 犬山城と城下町を楽しんだ



令和7年度10月期日本語学科入学式

田原福祉グローバル専門学校

10月1日に田原福祉グローバル専門学校令和7年度10月期日本語学科の入学式が行われました。今回の入学式ではミャンマー(13名)、インドネシア(7名)、ネパール(6名)、ベトナム(2名)の計28名の留学生を迎え入れることができました。

石川校長からは、同じ介護福祉

の専門家を目指す仲間、先輩と共に励まし合い、教え合いながら学び、目標を持って将来は介護の現場で活躍してほしいと式辞をいただきました。また古田理事長より、各国の言葉での挨拶の後、本校へ入学してくれたことへの感謝とともに、将来は福祉人材において大きな役割を果たしてほしいと、無限の可能性を秘めた新入生に激励もいただきました。山下市長からは田原という素晴らしい環境と、田原に住む人々や、歴史・文化に触れ勉学に励んでほしいとお祝いの言葉をいただきました。新入生代表のベトナム出身のタムニューさんは、家族の事情によりこの道を目指すきっかけになったこと、そしてこの学校での学ぶことは大切な財産になると信じており、そのために一生懸命に努力していくと熱い言葉を話してくれました。

現在、介護福祉学科、日本語学科合わせて総勢83名の留学生在籍することとなりました。それぞれが将来介護の現場で活躍できるよう目標を掲げ、勉学に励んでいます。

新入生が日本になじめるように、在校生を含め、その志している夢に少しでも近づけるように、職員一同サポートをしています。



第22回 福祉の絵手紙 受賞作品決定

第22回福祉の絵手紙作品募集では、680点もの心あたたまる作品をご応募いただき、ありがとうございました。多数の応募作品の中から厳選なる審査の結果、最優秀賞、理事長賞など、12点の作品が選ばれました。受賞作品は以下のとおりです。その他入選作品は、福寿園ホームページにてご覧いただけます。

また、今号より受賞作品を表紙に飾らせていただきます。今回は最優秀賞の細川美恵様の作品です。



《最優秀賞》細川 美恵 様



《優秀賞》前田 菜乃花 様



《優秀賞》新庄 すが江 様



《優秀賞》清水 麻央 様



《優秀賞》寺井 宜子 様



《理事長賞》近藤 美幸 様

各施設で秋のフェスタが行われました。

武豊福寿園・ケアハウス武豊

武フェス2025

武フェス 2025

佐藤 朱実

歌謡ショー



10月5日(日)武フェス2025が開催されました。当日の天候不順による雨が心配されましたが、皆の思いが届いたのか、屋外にブースを設けての実施ができました。

冒頭、福祉の心絵手紙の表彰においては、武豊町内の4つの小学校から優



秀な作品を選考し、各賞表彰いたしました。小学生にとっては式典での表彰自体恐らく経験のない中で、賞状の授与は、本人にとって一生の思い出になることでしょう。緊張の中に誇らしさも感じられる、印象的な場面でした。

その他、餅投げや飲食、ゲームコーナーでの催し、佐藤朱実さんの歌謡ショー等、小規模ながらも楽しい雰囲気の中で行事を進められたことで、本来の文化祭の目的に即した良いイベントとすることができました。

養護盲福寿園・田原福寿園

福寿園野外フェス2025

福寿園 野外フェス2025 式典



10月20日、福寿園野外フェス2025が開催されました。

ひまわりホールで行われた式典では「第21回福祉の心絵手紙」の表彰式が行われ、受賞された市内の小学生が少しの緊張と誇らしげな表情で壇上にあがり、表彰状を授与されました。

飲食バザーや子供向けの福祉体験スタンラリーも盛況でした。たくさんの子供たちが福祉体験を通し、福祉の心を育む貴重な機会になったのではないのでしょうか。



また、野外ステージでは成章高校吹奏楽部による華やかな演奏と、たつぷく児童クラブによる元気はじけるダンスステージに続き、川中美幸さんの歌謡ショーが開催されました。美しい伸びやかな歌声とたたずまいに客席の皆さんはうっとり。拍手や歓声で大盛り上がりでした。

多くの地域の皆さまにご来場いただき、たくさん笑顔が飛び交う本当に楽しい秋の日でした。



連載 75

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



水墨画教室の友達と中国旅行



華山会館にて自身の作品を出展



趣味の園芸

私は1937年に豊橋市駒形町で生まれました。子供の頃は、畑の手伝いや父の大工仕事を手伝ったり、祖母が飼っていた鶏のえさやりをしたりし、とにかく忙しい子供時代を過ごしました。畑から牛車を引いて家まで連れて帰る時は、坂道で牛が駆けださないように、牛の鼻輪をつかんでゆっくり歩くのが、体が小さな私にとっては大変なことでした。中学生になるとバレーボール部に入部したのですが、背が低い私は、

敵に狙われやすく、悔しい思いもしました。それでもバレーボールは好きで、友達と共に部活動の時間を楽しみました。しかし、家に帰って手伝いをしなければならぬ私は、いつもかけ足で家路を急ぎました。高校でもバレーボール部に入ったのですが、中学の時と同じように、畑の手伝いをしなければいけません。さらに父の体調が悪くなり、私にかかる負担がさらに大きくなってきました。

高校を卒業した後、洋裁や和裁を学び、国立病院の事務の仕事に就きました。23歳で結婚し、1男1女に恵まれました。仕事は辞め、和裁の内職をしました。内職の合間に趣味で、手毬作り、木目込み人形、刺繍の一種などいろいろやりました。

55歳で水墨画に出会いました。まずは基礎の筆使いや四君子で竹、菊、梅、蘭の練習に4年間取り組みました。その後、本科で4年間あらゆる題材に挑戦し、雅号「芽心」をいただきました。その後も水墨画に取り組み続け、70歳で墨彩画に出会いました。墨彩画は、墨に色を添えるので、作品に華やかさが生まれ、一段



鈴木 春子さん
(ケアハウスパシフィック)

プロフィール

生年月日：昭和12年5月1日
出身：愛知県豊橋市
趣味：水墨画、花や野菜の栽培
好きな食べ物：肉、寿司

と描いていて楽しかったです。

80歳を過ぎて膝や腰の手術を受け、また主人を看取りました。その間は休んでいた作品作りですが、ひと段落した後再開しました。

ケアハウスパシフィックに入ってから自宅で作品作りにいそしみ、充実した時間を重ねています。

水墨画の傍ら、園の花壇を借りて花や野菜を育て始めました。チューリップ、ヒマワリ、バラ、ユリなどの花々やミニトマト、黒うり、ブルーベリーそしてメロンなどの栽培にも挑戦しました。園の入居者の方から「花がきれいだね」「メロンが大きくなってきて楽しみなだね」と声をかけてもらうと、意欲が出ました。夏の暑い日、楽しみにしていたメロンを切ってみると、見た目は良かったのですが、味は甘みがなく、がっかりしました。でも、少しずつ大きくなる実を見続けた日々は楽しく、充実していました。これからさまざまな花や野菜の栽培に挑戦していきたいと思っています。

各施設 TOPICS トピックス

木田の里

木田ぼかぼか広場

地域に施設を
開放したイベン
ト「木田ぼかぼか広



場」を初めて開催しました。外部出店のキッチンカー9台を駐車場で営業し、サービス付高齢者住宅の1階共用部では、さまざまなワークショップやロビーコンサートで楽しんでもいただきました。お客様は466人と初めてのイベントにしては多くの方に来場いただくことができました。今年から子ども食堂「木田ぼかぼか食堂」を毎月行っており、地域共生社会の実現に向けた取り組みを「木田ぼかぼか」というネーミングで展開しています。福寿の湯は「ここもからだもあつたまる」とPRしておりますので、地域社会の皆さんの心が「ぼかぼか」とあつたまることのできる施設を目指しています。

ひまわり邸

新しい認知症観を広めよう！

「本人が認知症と共に希望をもって生きるという新しい認知症観を多くの人に持つてほしい」をテーマに、夢フェスタへ参加しました。認知症の方がリラックスできるアロマオイルを配合した「バスボムづくり」を行い、メッセージを伝えました。ラベンダーの優しい香りに包まれ、多くの方が訪れてくれました。

認知症の方や家族が参加している「チームオレンジ・ひまわり工房」で作製したストラップを手渡しながら活動を紹介すると、興味をもって



聞いていただきました。今後も地域活動を通して認知症の理解者、応援者の輪を広げて行きたいと思っています。

渥美福寿園

みんなの笑顔が輝く

6年ぶりに地元の中山保育園との交流会を行いました。多くの園児に来ていただき、「手と手と手」リズムに合わせてご利用者とハイタッチをしたり、小さなこぶしで肩たたき、最後はお歌を歌ってく



れました。ご利用者は、小さな園児との交流に笑顔で満ちあふれ、中には涙ぐむ方もいました。メッセージカードを最後にもらい、列を作ってハイタッチで見送ってくれました。また来年も会おうと約束をしているご利用者もあり、ほっこりとした時間を過ごすことができました。

田原ゆの里

彩りネイル体験♪



福祉ネイルリストの方をお招きし、

利用者にハンドマッサージやネイルの体験をしていただきました。最初は少し緊張した様子でしたが、色とりどりのマニキュアを目にすると、自然と笑顔がこぼれ「こんな色もいいね」「手がすべすべになって気持ちがいいね」と表情がパツと明るくなり嬉しそうな様子でした。

施術中は、ネイルリストとの会話も弾み、普段とは違った華やかで和やかな雰囲気になりました。「次は何色にしようかな?」「また来てほしいね」と心も手も温まる、素敵なひと時となりました。

みなみ福寿園

こども園の運動会

秋空の下、隣のこども園の運動会にお呼ばれして、入居者と一緒に応援してきました。風が強い日でしたが、子ども達が力いっぱい体を動かし、子どもながら力強さを感じました。年少のダンスでは、かわいい姿に癒され、年長のリレーでは、負けた時にどうしたら次は勝てるか、チームで話し合う姿に感動しました。職員も子ども



もたちと一緒に体を動かし、入居者からの応援を受けて頑張れました。若く元気なパワーをもらい、これからも元気に過ごしていきたいです。

ケアハウスパシフィック

投げ銭ワンマンライブ!!

神奈川県厚木市出身のシンガー・ソングライター・上野友輝さんによる、投げ銭ライブを開催しました。

「人の居場所」

をテーマとして活動され、2年前に豊橋のイベントに入居者と観覧したのがきっかけで、今回ご縁があり施



設に足を運んでくださいました。ライブ中は、持参された歌詞カードの中から、入居者のリクエストにもたくさん応えてくれ、大盛り上がり。自身の楽曲も披露され、優しい歌声と、心に響く歌詞で会場を沸かしてくれました。

唯一無二のスタイルに魅了されて、皆さんの気持ちが投げ銭へと繋がっていました。

ケアハウスきぬうら

童話「どんぎつね」発祥の地へ

散歩クラブにて半田市の矢勝川堤「ごんの秋まつり」に行ってきました。

どんぎつねの世界観を表現しようと、地域の人々の手で植栽された300万本の彼岸花は圧巻でした。

「すごい景色だね」

「今の時期しか見られないから来て良かった」と入居者と話しながら「どんぎつね」の



秋を楽しみました。川沿いをぐると散歩すると小腹が「グー」と。彼岸花を見ながらも、花より団子と屋台で買ったお団子を食べ「たくさん歩いたから美味しいわ」とお腹も腫も心も満たされ、笑顔もたくさん見ることができました。

今後入居者の方の笑顔をたくさん引き出せるような企画を提供していきたいと思えます。

昭和の里

笑顔いっぱいバーベキュー

前日の天気予報は「雨」。就労継続支援の利用者はじめ、今回はデイサービスのパート職員とそのご家族がほぼ参加になっており、みんながこの日を楽しみにしていました。

いざ当日。思いが通じたのか、雨が降ることなくバーベキューが



始まりました。お肉は豊橋で有名な焼肉店で仕入れ、キッチンカーでクレープを販売し、誰もが大満足していました。

今回のイベントを通じて、ご家族や職員間のつながりが深まり、昭和の里のチームワークが強くなったように感じます。

グループホームちた福寿の里

秋の遠足に出かけたよ

福寿の里の近くにある自然豊かな佐布里公園で、お花摘み体験ができること、素敵な力フエがオープンし



たと聞き、早速行ってきました。
皆さんお花が好きなので、少女時代に戻ったかのように時間を忘れ、お花摘みをしました。次に力フエでお茶を飲みながら、昔お花を摘んで遊んだことを笑顔でお話してくれました。色とりどりのお花を花瓶いっぱいを持ち帰り、自分のお部屋に飾りました。自分達で摘んだお花は宝物です。

ひまわりの街地域包括支援センター

法雲寺「心の安らぎカフェ」で家族交流

ひまわりの街地域包括支援センターは、法雲寺の「心の安らぎカフェ」で、介護経験者らが日頃の苦労話や相談を共有する場に参画しています。

今年は職員による「認知症ミニ講座」を全4回コースで開催中。別室では移動図書館も開かれ、参加者が思い思いに過ごすことができます。全4回参加された方



には皆勤賞（豊田市ゴミ袋セット）が贈られます。これは就労支援事業所に作製をお願いし、仕事の創出につながっています。

武豊福寿園ショートステイ

手作りおにぎり



9月30日の昼食の時間に、おにぎり作りレクを開催しました。ご飯にごま油と塩を混ぜたもの、のりたまを混ぜたもの、塩ご飯の3種類を用意し、具は梅干し、おかか、鮭のりの佃煮と4種類用意しました。それぞれ好きな具材を入れて、好きな大きさにむすんだおにぎりを、皆さんとても美味しそうに召上がっていました。普段ご飯を残される方も、自分でむすんだおにぎりは美味しいのか、たくさん召上っていました。

田原福寿園

昔懐かしリズムに乗って♪

皆さんの敬老をお祝する晴れやかな日に、ちんどん屋の「じゃんたら娘」のお二人が駆けつけてくださりました。美しいアコーディオンの音色と歌声、フロアいっぱい響くサックスから奏でられる昔懐かしメロディに大盛り上がり！皆さんにとって忘れられない1日になったと思います。素敵な演奏をありがとうございました。



花の里グループホーム

カフェでリフレッシュ

9月のまだまだ暑さが続く中、田原市にある「ななつやま」とい



う喫茶店にリフレッシュに行ってきました。和風の力フエで、ぜんざいやあんみつ、かき氷やクレープなどたくさん種類のがある中から好きな物を選んでいただき、涼しい店内でたくさんお話をしながら楽しいひと時を過ごしてきました。これから過ごしやすい気候になってくるので、また色々なところへ外出したいと思います。

武豊町デイサービス砂川

麻雀クラブ



毎週月曜日と第一・三・五週の金曜日に、地域のボランティアさんに来ていただき、麻雀クラブを開催しています。

今年発足したクラブで、当初は参加者が少なく3名での開催でした。しかしある時、認知症の進行で自宅の認知も難しくなりつつある利用者さんが見学に来られ、実際に参加していただくと、ルールや点数計算もきちんと覚えており、麻雀中の表情は生き生きとしていました。その様子にご家族も大変驚かれています。

この経験を生かし、今後も多くの利用者さんにデイサービスでの楽しみを提供していきたいと思っています。

養護盲福寿園
いざ！そうめん

竹を組み立て、水を流して、完成した自家製流しそうめん台。入所者の皆さんが一列に並んで「いくよー！」の一声で流れ出すそうめんを、たくさん取ろうと皆さん必死でした。うまくそうめんを取れた方は、お好みの薬味を入れたつゆで食べ、取れなかった方も「次は捕まえるぞー」と意気込んでチャレンジをしています。3杯、4杯とどんどん食べられる方が多かったです。食べ過ぎ



ぎてお腹がはちきれそうという方も…食べ過ぎにはご用心を。

豊田福寿園

秋の夜長にお月見会

十五夜が近づく10月3日、入居者と学習支援の子どもたちと一緒にお月見会を開催しました。

秋の夜長を楽しみました。入居者からは、ビール片手に食事をつまみながら「みんなと一緒に一杯飲めて、楽しい時間が過ごせたよ」とうれしい言葉をいただきました。



当日はあいにくのお天気でしたが、テレビに大きなお月様を映してジュース、ノンアルコールビール、カクテルで乾杯し、スタートしました。お月見パーティーに口コモコ丼など、お月見にちなんだおいしい料理をバイキング方式で選んでいただき、

東海福寿園デイサービス
秋空の下、紅白の熱戦！

秋晴れの中、毎年恒例の「デイサービス運動会」を開催しました。

利用者の皆さんは紅組・白組に分かれ玉入れや職員と一緒に借り物競争などに挑戦！笑顔と笑い声があふれ応援にも力が入りました。普段より体を動かすことで気分もリフレッシュされた様子でした。

「体を動かして気持ちよかった」「若いころを思い出した」といった声が聞かれ、みんな大満足の一日となりました。



介護技術ステップアップ研修会

令和7年9月30日、東三河・豊田・知多の3地区において、介護職員を対象とした「介護技術ステップアップ研修」が初めて開催されました。対象は採用2年目の介護職員で、食事・排泄・入浴・認知症ケアの4項目をテーマに、実演とフィードバックを通して介護技術を磨く実践型の研修です。



各会場では、参加者が利用者役を交えたロールプレイを行い、アドバイザーからの助言を受けながら、自身のケアを客観的に見つめ直しました。

「緊張したけれど、普段の自分のケアを見つめ直すことができた」「同期と介護技術を確認し合いながら学べた」といった声が寄せられ、互いの経験を共有しながら学びを深める有意義な一日となりました。

令和7年度新入職員第二次研修会

令和7年9月4日、豊田市「ひまわりの街」にて、新入職員第二次研修会が開催されました。参加した78名の職員は、入職から半年を経て、あらためて仕事の目的や福祉サービスの原点を振り返りました。

研修では、古田理事長による「福祉をとりまく環境と中長期経営計画」をはじめ、中立常務理事の「サービスとコミュニケーション」、各施設長による認知症ケアやリスクマネジメント、緊急時対応など多彩な講義や演習が行われました。

参加者からは「同期の成長に刺激を受けた」「自分を見つめ直し、思いやりのあるケアを意識したい」といった声が寄せられ、改めて「誰のために、何のために働くのか」を考える充実した一日となりました。



『フクちゃんの福祉のめばえ編』発刊



マンガ本『フクちゃんの福祉のめばえ編』を発刊しました。法人イメージキャラクター「フクちゃん」を主人公に、子どもたちが成長する中で出会う「福祉」の場面を、親しみやすいストーリーとイラストで描いています。主人公の体験を通じて、思いやりの心や支え合うことの大切さに気づき、福祉を特別なものではなく、誰もが関わることでできる身近な存在として感じてもらうことを目指しました。多くの子どもたちがこの本を通して福祉に関心を持ち、人を思いやる心を育んでくれることを願い、教育機関や各種団体へも寄贈しています。

キッチンカー始動!

昭和の里

昭和の里就労継続支援センターに、法人の新たな挑戦としてキッチンカー「Café2910クレープ」が仲間入りしました。えんじ色のシックな車体にロゴをあしらひ、9月28日に木田の里で初出店。続く10月19日には田原野外フェスにも登場し、多くのお客様で賑わいました。パリッと香ばしい生地が好評で、生クリームは動物性100%、トッピングのチーズケーキやブラウニーも手作りです。中でもチョコバナナとシャインマスカットのクレープが好評で、「本物の味」との声も多く寄せられました。次回は11月にも豊田地区で出店予定です。見かけた際はぜひお立ち寄りください!



第5回たっぴく祭

田原福祉グローバル専門学校



今年のたっぴく祭は、成章高校の他、田原中学校の学生にもボランティアに参加していただき、一緒に盛り上げていただきました。毎年飲食バザーが人気ですが、今年はエントランスホールに行燈や凧、行事の写真等を掲示し、多くの人に学校行事の様子を見ていただき、賑わいました。昨年に続き、日本語学科による民族衣装の試着体験や、成章高校によるタッセルキーホルダー作りのブースは盛況でした。皆さんも来年はぜひ体験してみてください。

あいふくファクトリー竣工

あい福の里

令和7年10月3日、あいふくファクトリーの竣工式が執り行われました。20tのさつま芋キュアリング貯蔵庫と、干し芋を中心とした芋けんぴや芋チップス等の菓子製造可能な加工室を備えた施設が完成しました。当日は、お披露目の中で作業スペースに設置してあるさつま芋選別機や洗浄機のデモンストレーションも行いました。

新しくデザインされたシンボルマークが建物に掲げられています。さつま芋をモチーフにしたお洒落で可愛いマークです。これから商品開発していく干し芋等の加工品のパッケージにも使用して、ブランド構築を図っていきます。一丸となって努力していきますので、今後に乞うご期待ください。



家族会だより

養護官・田原福寿園 草取りボランティア

野外フェスを控えての家族会主催の草取りボランティアは、あいふくの天候で室内清掃活動となりました。多くのご家族と職員が協力しながら、3施設の窓拭きや床清掃に汗を流しました。皆様のおかげで、施設が明るく綺麗になりました。お足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございました。

田原ゆの里 草取りボランティア

10月13日、家族会の皆さんと一緒に施設周辺の草取りを行いました。当日はご家族を中心に27名の方々に参加いただきました。「みんなで作業するとあつという間だね」と和やかな会話が交わされながらの作業となり、気づけばたくさんあった草もスッキリきれいになりました。草取りを通して、ご家族同士や職員との交流の場にもなり、とても温かい時間となりました。ご協力いただきありがとうございました。

みなみ福寿園 草取り&食事会

10月19日に家族会草取り&食事会を行いました。5月の草取り後のなかなか手の届いていない場所を行い、施設がきれいになりました。一緒に汗を垂らしながら行うことで交流ができ、「草が伸びたね」と話し

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

ながら楽しい雰囲気で行うことができました。草取り後、お疲れ様の会として入居者の方と一緒に福寿園のお食事を楽しんでいただきました。

くすのきの里 やまももしらかば家族親睦会

9月28日に2階やまもも・しらかばユニットの家族会を開催しました。皆さんと一緒に昼食をとり、デザートには外国人スタッフが手作りのフィリピン、ベトナム、インドネシアと日本のデザートを提供しました。外国のデザートに「初めて食べる」と驚きの声。異文化に触れていただくことができました。食後は、〇・×ゲームを行い、入居者さんご家族で相談しながら解答。上位に入賞された入居者さんが涙を流しながら大喜びする場面もあり、とても充実した一日となりました。

東海福寿園 清掃活動&バーベキュー

10月5日に家族会清掃活動&バーベキューを行いました。なかなか掃除が行き届かないベランダの掃除をご家族と職員で一緒に行いました。毎年の恒例行事となっていることもあり、皆さま手際よく清掃を進めてくださり、とてもキレイになりました。終わってからはお楽しみみのバーベキュー。汗をかけたあとのおいしい食事で親睦を深めました。参加してくださった44名の皆さま、ありがとうございました。

福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.19

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在105名(フィリピン人 66名、ベトナム人 30名、インドネシア人 9名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎月一人ずつ紹介します。

- Q EPAとして日本にくることにしたきっかけはなんですか？
A 日本のような先進国で介護のスキルを学びたいと思ったからです。日本の文化や働き方も体験して自分自身も成長したいと思いました。
- Q 日本にきて驚いたことはなんですか？
A 時間をきっちりと守ることにびっくりしました。あと、トイレがすごくきれいでハイテクにも驚きました。どこも整っていてとても気持ちがいいです。
- Q 好きな日本の言葉はなんですか？
A 「がんばって」です。この言葉を聞くと元気が出て、毎日頑張ろうという気持ちになります。
- Q 休日は何をして過ごしていますか？
A アパートでゆっくりしたり、フィリピンの家族とビデオ通話をしたりしています。天気がいい日は友達と山登りに出掛けたり、新しい場所に出掛けたりもします。
- Q 日本で行ってよかった場所はありますか？
A 日本の山が好きです。自然がとてもきれいで友達と山に登った思い出もたくさんあります。
- Q 最後に一言。
A 毎日新しいことを学び、少しずつ自分に自信がつかえました。感謝しています。



ゴメズ エデリアン
エイクイ
ニックネーム
エデリアン
武豊福寿園
国籍:フィリピン

新連載

祝出産！

ベビーちゃん、いっしょに



新しい家族が
増えました

《現在育児休業中》

池山 瀬里

豊田福寿園 職員

お子さんのなまえ
たいち
大智ちゃん(男の子)

生後3ヶ月

性格 今のところ、よく寝てよく笑う赤ちゃんです。3学年差の姉にちょっかいを出され、泣かされています。

名前の由来 広い視野を持ち、物事の本質を考えて、まわりに流されずに自分の考えを大切にできる人になってほしい、そんな想いを込めました。



令和7年11月10日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園
■理事長／古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※みわりは再生紙を使用しています。



vol.184 12